

企画構想学科 田澤ゼミの「“滝山みんなの畑”プロジェクト」で 夏野菜を活かした学生イベントを 7/22(水)と 7/30(木)に開催

東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）企画構想学科の田澤紘子 准教授のゼミでは、地域と連携した学びを活かす「“滝山みんなの畑”プロジェクト」を昨年度立ち上げました。このたび、そのプロジェクトの一環として、夏野菜を活かした2つのイベントを開催します。

本プロジェクトでは、本学周辺に存在する農作放棄地に目を向け、この課題についてより多くの人に考えていただくこと、地域の人に自分ごととして問題を捉えていただき、楽しんで解決していくことを目的として、滝山地区内にある畑を「滝山みんなの畑」（山形市小立）と名付け、その管理や収穫物を活かして、様々な企画を展開しています。

今回行うのは、7月22日（水）に、“田澤ゼミが育てた夏野菜”と“本学学生の専門性”を交換する「ベジ・トレード」と、7月30日（木）に、山形市滝山地区の「滝山みんなの畑」で収穫した枝豆をその日夕食に届ける「“今夜の夕食”収穫祭！」の2つのイベントです。

プロジェクトは2年目を迎え、夏野菜が実りを迎える今夏の収穫の時期にあわせて行う、学生と地域住民をつなぐ本取り組みをぜひご取材いただきたく、ご案内申し上げます。



写真)「滝山みんなの畑」の様子(耕作から種まき、管理まで学生が主体的に取り組んでいる)

■「“滝山みんなの畑”プロジェクト」概要

山形市滝山地区には農地の管理者の高齢化、土地条件の悪さなど様々な理由により農作放棄地が数多く存在します。農作放棄地の存在は雑草の繁茂、それによる鳥獣や害虫被害の拡大につながる非常に重大な地域課題です。この問題を滝山地区の住民をはじめとした多くの方に知っていただくこと、農作放棄地を活かし地域の方が交流できる場を設け、ゆくゆくは多世代交流拠点になることを目指して「“滝山みんなの畑”プロジェクト」を始動させました。

本プロジェクトは本学デザイン工学部企画構想学科田澤ゼミ3年（代表：加藤音々、三浦和樹）が中心となり、地域と連携しながら取り組んでいきます。滝山地区の方々と共に耕作放棄地の問題に目を向け、楽しめるイベントを開催しながらたくさんの方々に発信していきます。

代表：加藤音々「野菜を通して、地域の方と芸工大生が顔の見える関係になれば嬉しいです」
三浦和樹「畑を”みんなのもの”として楽しんでもらえるきっかけにしたい」

■みんなの「得意」と野菜を交換！「ベジ・トレード」

日時：2026年7月22日（水）11時30分～13時00分

会場：東北芸術工科大学 学生会館（学生食堂）東側入口（山形市上桜田3-4-5）

「みんなの畑」には看板がなく、今後、多くの地域住民の方に知っていただくために、看板を設置して存在を周知していきます。看板制作では、田澤ゼミが育てたナスやジャガイモ等の夏野菜と、本学学生が有する専門性を「物々交換」する「ベジ・トレード」を実施。①まっさらな木の看板に、学生が思い思いにペイントを重ね装飾してもらい、②その御礼として夏野菜をプレゼントします。出来上がった看板は、「滝山みんなの畑」に設置します。

当日は、学生が真っ白な木の看板に思い思いのペイントを施す様子、完成のお礼として夏野菜を受け取る「交換」の瞬間をご覧ください。

■夏休み中の子どもと一緒に！「“今夜の夕食”収穫祭！」

日時：2026年7月30日（木）10時00分～12時00分

会場：滝山コミュニティセンター（山形市上桜田 1-17-26）

滝山コミュニティセンターが主催する、滝山地区在住の小学生を対象にした夏休みイベント「ブラ滝塾—子ども体験学習—」の一環として、「滝山みんなの畑」で育てた枝豆を使ったプログラムです。参加者の子どもたちと一緒に「滝山みんなの畑」に赴き、その場で枝豆を収穫します。もぎたての枝豆を持ち帰り、それぞれの家庭で「今夜の夕食」として新鮮な枝豆を食べてもらう企画で、本学学生がナビゲーターを務めます（参加児童の募集は定員に達したため終了しています）。

当日は、子どもたちが枝豆を収穫し、その日のうちに各家庭で味わうまでの様子をご覧ください。

※7/22と7/30、両日とも取材をお受けできますので、ぜひご検討いただけますと幸いです。